

人も地球も健康に

**Yakult**

## 掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表
- 09 **特集** 海外での商品展開
- 11 コラム「調達活動における森林破壊・土地転換  
ゼロコミットメント」を策定しました
- 13 商品紹介
- 19 ヤクルトのネットワーク
- 21 会社情報

## 株式会社ヤクルト本社

# 第71期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日



特集

海外での商品展開



進出国・地域の  
状況に合わせた  
商品展開により  
**持続的な成長**を  
目指します！



# To Our Shareholders / Highlights of Consolidated Financial Results

## ごあいさつ



代表取締役社長

成田 裕

平素は格別のご高配を賜り、あつく御礼申し上げます。

2022年4月1日から2023年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

2023年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

## 当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気の持ち直しが期待されてきたものの、世界的な金融引締め等による景気の下振れリスクや、物価上昇等による影響に十分注意を要する状況で推移しました。

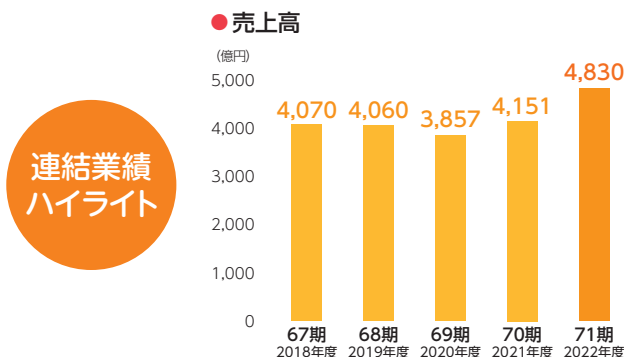
このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」に立脚し、世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーを目指し、企業活動を推進し、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は4,830億円(前期比16.4%増)となりました。利益面においては、営業利益は660億円(前期比24.2%増)、経常利益は779億円(前期比13.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は506億円(前期比12.7%増)となりました。

## 次期について

乳製品につきましては、引き続きヤクルト類を最重点ブランドとし、「乳酸菌 シロタ株」の科学性を訴求していきます。また、「Yakult(ヤクルト)1000」および「Y1000」の需要の高まりに対応するため、それぞれ生産体制を強化していきます。さらに、社会環境の変化に対応しながら、継続的にマーケティング投資やチャネル施策を展開し、乳製品の売り上げ増大に努めます。

宅配チャネルにおいては、「Yakult1000」および「ヤクルト400W」のブランド育成を促進するとともに、ヤクルトレディの採用活動およ



び働きやすい職場づくりの推進により、宅配組織の強化を図ります。

店頭チャネルにおいては、マーケットごとに、お客さまの多様なニーズに合わせた施策を展開し、Newヤクルト類および「Y1000」を中心とした乳製品の実績拡大を図ります。

清涼飲料につきましては、タフマン類等の健康飲料を中心に販売を強化し、売り上げの増大に努めます。

海外につきましては、既存事業所のさらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。

特に、ベトナム、インド、中国、米国および中東地域などの事業所については、経営基盤の強化と事業の成長を推進していきます。

今後の新規進出については、外部環境・内部環境を考慮し、慎重に判断していきます。

化粧品につきましては、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及活動」に重点をおき、お客さまの「内外美容」の実現と新たなお客さまづくりを図ります。

国内の訪問販売においては、お客さま一人ひとりに対し、きめ細かいサービスを提供することで、基礎化粧品の愛用促進を継続していきます。また、通信販売における利用者の購買利便性の向上を図ることで、お客さまとの接点拡大を進めていきます。

海外においては、引き続き中国におけるECショッピングサイト「天猫国際(Tmall Global)」を通じて、同国での認知度向上を図り、売り上げの増大に努めていきます。

医薬品につきましては、徹底した経費の見直し、業務効率化を進めるとともに、当社の主力製品である「エルプラット」について、先発企業として培ってきた情報提供力を基盤とした提案型営業を展開します。

### 配当について

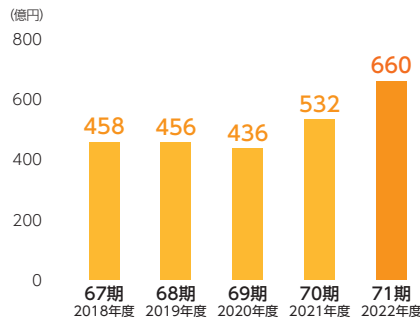
当社は、継続的な増配を目指すことを最優先とし、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績などを総合的に勘案して配当金額を決定します。

上記の方針のもと、2023年3月期の年間普通配当金額は、前期に比べて1株当たり18円増配の年額90円としました。すでに中間配当金45円を実施していますので、2023年3月期末の配当金については45円となります。

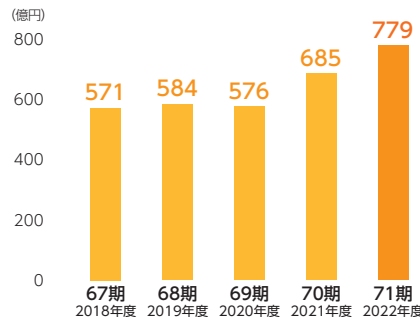
また、次期の配当については、株主の皆さまへより一層の利益還元を図るため、当期に比べて1株につき20円増配の年額110円を予定しています。

	当期	次期の見通し
売上高	<b>4,830</b> 億円(前期比 16.4%増)	<b>5,310</b> 億円
営業利益	<b>660</b> 億円(前期比 24.2%増)	<b>755</b> 億円
経常利益	<b>779</b> 億円(前期比 13.7%増)	<b>910</b> 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>506</b> 億円(前期比 12.7%増)	<b>585</b> 億円

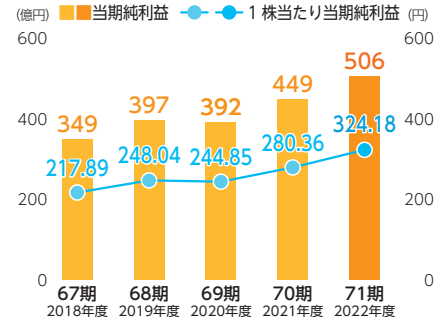
### ● 営業利益



### ● 経常利益



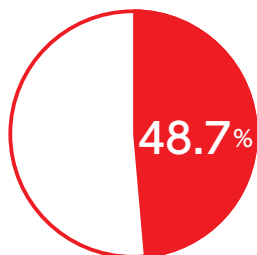
### ● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



# Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

## 飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期

売上高

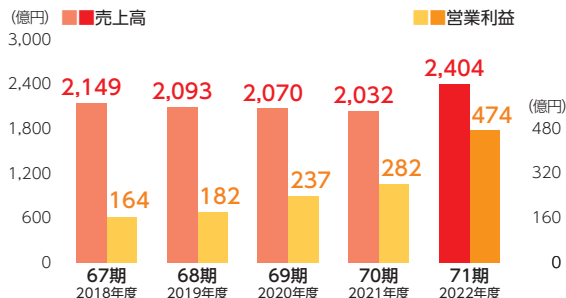
2,404 億円

(前期比：18.3% ▲)

営業利益

474 億円

(前期比：68.0% ▲)



乳製品につきましては、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」や「ビフィズス菌 BY株」などの科学性を広く普及するため、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたうえで、地域に根ざした「価値普及活動」を積極的に展開しました。

宅配チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「Yakult1000」およびヤクルト400類を中心に、エビデンスを活用し、お客さまに対する飲用促進を図りました。また、インターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」やウェブサイト等による情報発信を通じて、お客さまとの接点を強化しました。さらに、宅配組織の強化を図るため、ヤクルトレディの採用活動および働きやすい環境づくりを推進しました。

店頭チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料Newヤクルト類について、SNSを活用したキャンペーンを実施したほか、家族での飲用促進を目的とした期間限定パッケージを導入しました。また、演出資材等を活用した視認性の高い売り場を展開することで売り上げの増

大に努めました。

商品別では、「Yakult1000」および「Y1000」の需要の高まりに対応するため、それぞれ生産体制を増強しました。今後も、引き続き安定供給に向けた対応を進めていきます。また、ハードタイプヨーグルト「ソフル」について、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社とのコラボレーション商品として、期間限定アイテム「ソフル レモン」を本年1月に発売するなど、ブランドの活性化を図りました。

一方、清涼飲料につきましては、原材料費の上昇および物流費・燃料費等の急激な高騰を受け、昨年11月に価格改定を実施しました。また、栄養ドリンクタフマン類について、消費者キャンペーンを実施するなど、売り上げの増大に努めました。

また、東京ヤクルトスワローズのセントラル・リーグ優勝を記念し、応援していただいた皆さまに感謝の意を表すため、記念施策を実施しました。

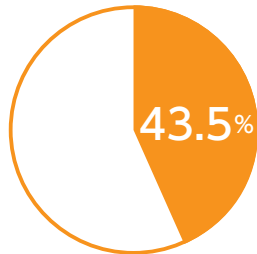
News & Topics  
2023

### ■「健康経営優良法人(大規模法人部門)～ホワイト500～」に6年連続で認定

「健康経営優良法人(大規模法人部門)～ホワイト500～」に当社が6年連続で認定されました。当社は、企業理念を実現するためには従業員自身の健康保持・増進が不可欠であるとの考えに立ち、「健康宣言」を策定し、代表取締役社長を最高健康責任者、人事部内に実務推進担当部署を設置して、従業員の生産性向上と組織の活性化を目的に健康経営に取り組んでいます。今回は、従業員向けオリジナル体操「ヤクルトストレッチ」の実施、男性社員の育児休業取得の推奨などが評価されての認定となりました。



## 飲料および食品製造販売事業部門（海外）

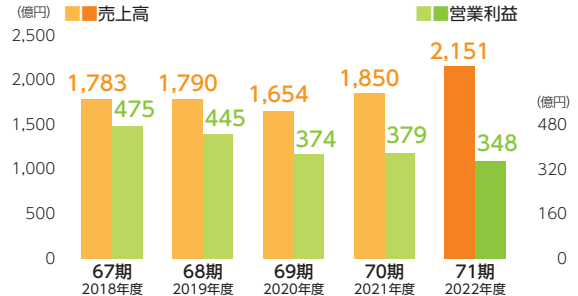


売上高構成比

当期

売上高  
**2,151** 億円  
(前期比：16.3% ▲)

営業利益  
**348** 億円  
(前期比：8.4% ▼)



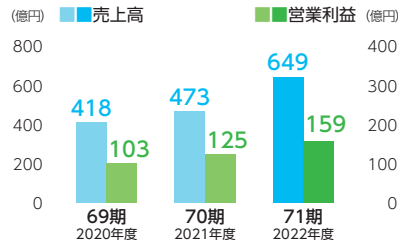
## 米州地域

売上高 **649**億円 (前期比：37.0% ▲)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で「ヤクルト」などを製造、販売しています。

米国においては、広告活動などによる販売支援を強化するとともに、積極的な新規開拓活動等により取引店舗数が増加した結果、販売実績は順調に推移しました。

その他米州地域では、宅配・店頭への両チャンネルにおける販売体制の強化を図り、売り上げの増大に努めました。



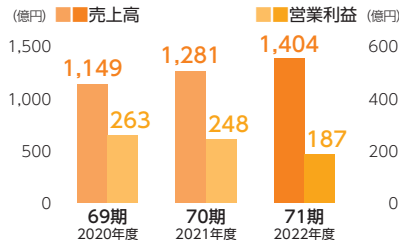
## アジア・オセアニア地域

売上高 **1,404**億円 (前期比：9.6% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

ベトナムにおいては、宅配組織の拡充と取引店舗数の増大に努めるとともに、「価値普及活動」を推進した結果、販売実績は順調に推移しました。

中国においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うロックダウンなどにより、多くの地区で活動が制限され、売り上げは大きな影響を受けました。



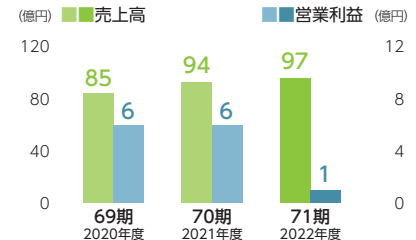
## ヨーロッパ地域

売上高 **97**億円 (前期比：3.3% ▲)

ヨーロッパ地域においては、「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

同地域では、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向けた各種の取り組みを行うほか、健康志向の高まりを契機とした各国の市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。

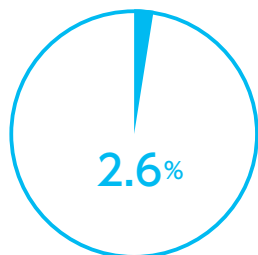
一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化に伴い、当社は、両国内で事業展開をしていないものの、引き続きヨーロッパ地域全体への影響について注視していきます。



## Yakult 豆知識 ● その2

2023年4月から販売地域を全国へ拡大した「肝ファイン」に含まれる「紫サツマイモ由来アントシアニン」には、健康な人の健常域でやや高め肝機能に関連する酵素(AST、γ-GTP)値の低下に役立つ機能があることが報告されています。

## 医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当期

売上高

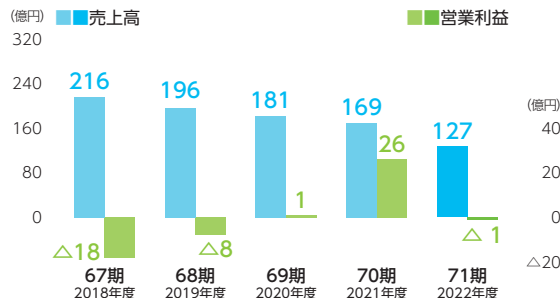
127 億円

(前期比：24.9% ↓)

営業利益

△ 1 億円

(前期比： - ↓)



医薬品につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの施設で医療従事者に対して直接の面談ができない状況が継続していましたが、ウェブの活用等により、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品等の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、行政方針に沿って後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力を生かした活動を展開しました。

しかしながら、昨年4月に実施された薬価改定において大半の当社製品の薬価が引き下げられたことや、9月に日本セルヴィエ社との抗悪性腫瘍剤「オニバイド®」に関するプロモーション契約が終了したことにより、売り上げは影響を受けました。

News & Topics  
2023

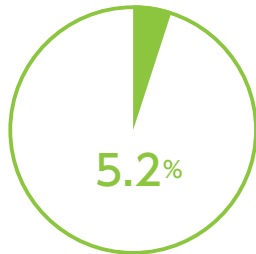
### ■「ヤクルトグローバルサステナビリティサイト」を開設

国内外のステークホルダーの皆さまに、当社グループのサステナビリティに関する取り組みを紹介する「ヤクルトグローバルサステナビリティサイト」を2023年3月に開設しました。当社は、企業理念にある、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献するには、人を取り巻くすべてのもの、つまり「地球」が健康でなければならぬと考え、「人も地球も健康に」をコーポレートスローガンに掲げています。当サイトでは、人だけでなく地球の健康も支えるヤクルトのサステナビリティに対する考え方やトップメッセージ、具体的な取り組みやトピックスを掲載しています。



<https://www.yakult.com/sustainability>

## その他事業部門



売上高構成比

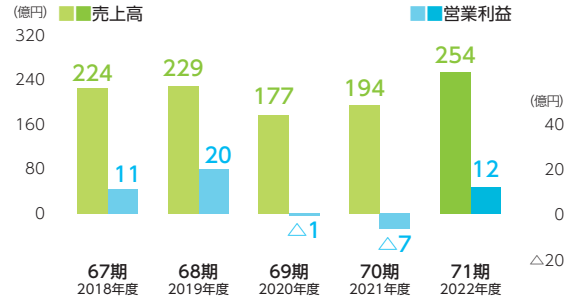
当期

売上高

254 億円  
(前期比: 30.7% ↑)

営業利益

12 億円  
(前期比: - ↑)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品につきましては、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及活動」に重点をおき、お客さまの「内外美容」の実現と化粧品愛用者数の増大に努めました。

具体的には、乳酸菌生まれの保湿成分を配合したスキンケアシリーズ「ラクトデュウ」について、昨年11月に「ラクトデュウ S.E.ローション2」を新発売し、また「ラクトデュウ S.E.ミルク」をリニューアル発売するとともに、歌手の森高千里さんを起用したテレビCMを放映しました。加えて、本年1月には薬用保湿

美容液「バルフェ モイスチュア エッセンス」をリニューアル発売しました。

一方、プロ野球興行につきましては、ファンの皆さまのご声援を受け、東京ヤクルトスワローズが2年連続でセントラル・リーグ優勝および日本シリーズ進出を果たすことができました。また、神宮球場において入場制限が解除されたことに加え、各種ファンサービスの充実やさまざまな情報発信を行った結果、入場者数が増加しました。

### ■ 「Tough-Man Refresh(タフマン リフレッシュ)」を機能性表示食品として発売

2023年3月、栄養ドリンク「Tough-Man Refresh」を機能性表示食品としてリニューアル発売しました。本品には、日常生活における軽い運動後の一時的な疲労感を軽減する機能があることが報告されている「クエン酸」を1本に1000mg配合しています。「タフマン」の基本価値である高麗人参(100mg/本)のほか、エネルギー代謝に必要なビタミンB<sub>2</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>を配合し、特徴的な風味は残しつつも、おいしく飲みやすい炭酸タイプのリフレッシュ飲料です。カフェインが気になる方にも安心してお飲みいただけるノンカフェインです。



# Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

単位：億円

科目	第70期 2022年3月31日現在	第71期 2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,003	3,541
固定資産	3,724	3,952
有形固定資産	2,111	2,251
無形固定資産	53	55
投資その他の資産	1,559	1,645
資産合計	6,728	7,494
<b>負債の部</b>		
流動負債	892	1,476
固定負債	986	562
負債合計	1,879	2,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,541	4,750
資本金	311	311
資本剰余金	411	415
利益剰余金	4,463	4,842
自己株式	△643	△819
その他の包括利益累計額	△81	236
その他有価証券評価差額金	183	204
為替換算調整勘定	△240	39
退職給付に係る調整累計額	△23	△7
非支配株主持分	388	468
純資産合計	4,849	5,454
負債・純資産合計	6,728	7,494

## 連結損益計算書

単位：億円

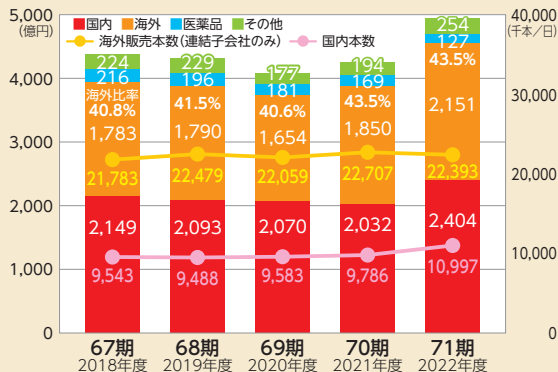
科目	第70期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	第71期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	4,151	4,830
売上原価	1,666	1,945
売上総利益	2,484	2,884
販売費及び一般管理費	1,952	2,224
営業利益	532	660
営業外収益	167	142
受取利息	33	60
受取配当金	19	19
持分法による投資利益	64	26
為替差益	24	4
その他	26	31
営業外費用	14	23
支払利息	6	6
その他	7	16
経常利益	685	779
特別利益	42	42
投資有価証券売却益	23	12
段階取得に係る差益	11	—
その他	6	29
特別損失	33	36
固定資産売却損	11	0
固定資産除却損	5	12
投資有価証券売却損	—	11
減損損失	16	13
その他	0	—
税金等調整前当期純利益	694	785
法人税、住民税及び事業税	149	219
法人税等調整額	52	6
当期純利益	492	558
非支配株主に帰属する当期純利益	43	52
親会社株主に帰属する当期純利益	449	506



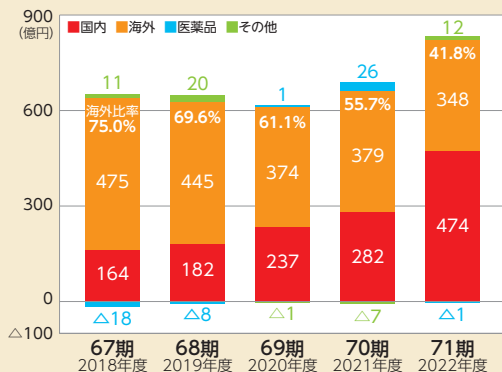
第71期のポイント

- 全体(増収・増益)
- 国内飲料(増収・増益)
  - ・ Yakult1000等の販売数量増により、増収・増益
- 海外飲料(増収・減益)
  - ・ 販売数量は微減、円安効果により増収
  - ・ 経費増および原材料高騰により減益
- 医薬品(減収・減益)
  - ・ 薬価改定の影響等により減収・減益

売上高推移(連結) (注)セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。



営業利益推移(連結) (注)全社費用等の調整前金額で表示しています。



連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

科目	第70期	第71期
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	733	865
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△118	△190
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△451	△445
現金及び現金同等物に係る換算差額	116	168
現金及び現金同等物の増減額	279	397
現金及び現金同等物の期首残高	1,227	1,507
現金及び現金同等物の期末残高	1,507	1,904

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が前期と比較し、90億円増加の785億円となったこと等により、前期と比較し、131億円の増加となりました。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは865億円となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較し、主に固定資産の取得による支出の増加に加え、投資有価証券の売却による収入や、固定資産の売却による収入が減少したこと等により、支出額が71億円増加しました。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△190億円となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出や配当金支払額の増加があったものの、借入金返済額の減少等により、支出額が6億円減少しました。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△445億円となりました。

より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報 検索

## 進出国・地域の状況に合わせた商品展開により 持続的な成長を目指します!

国内では「乳酸菌 シロタ株」の新たな機能を訴求した「Yakult1000」「Y 1 0 0 0」が順調に販売本数を増やしています。

海外においても、国・地域の状況にあわせた商品展開を進めることで持続的な成長を目指しています。

### 海外における商品展開

#### 1 新規進出時は「ヤクルト」で「乳酸菌 シロタ株」の機能を訴求

##### 1 理解

- 「乳酸菌 シロタ株」持つ機能を理解していただく
- 飲用することの意味を理解していただく

##### 2 継続

- 「ヤクルト」を継続飲用していただく

##### 3 体感

- 継続飲用により、「乳酸菌 シロタ株」の機能を体感していただく



#### 2 進出国・地域の状況に合わせた商品の多様化

- 認知度
- 消費者志向
- 社会環境
- 各種規制

などを見極め

##### 商品の多様化による新たな価値の提供

- 低糖商品(ライトタイプ)
- 高菌数、高付加価値商品



日本を除く**39**の国と地域のうち、**ライトタイプ**、**高菌数、高付加価値商品タイプ**を合わせて**31**の国と地域で販売しています。

最近の展開事例

インドネシアヤクルト株式会社 「ヤクルトライト」

2022年  
10月  
販売開始



販売チャネル

店頭



発売  
背景

- 糖尿病患者数の増加を背景とした低糖、低カロリー商品へのニーズの高まり

商品  
特長

- 「ヤクルト」と比較してカロリーを50%低減

中国ヤクルト株式会社 広州ヤクルト株式会社

「ヤクルト500億ライト」

2023年  
2月  
販売開始



中国ヤクルト：養楽多500億活菌型乳酸菌乳飲品低糖

発売  
背景

- 健康志向の高まり、乳酸菌飲料市場における高菌数商品の需要の伸び

商品  
特長

- 「乳酸菌 シロタ株」を500億個含む高菌数、高付加価値商品
- 食物繊維、ビタミンD、ビタミンE、カルシウムといった栄養成分を配合



広州ヤクルト：益力多牌乳酸菌乳飲品（低糖500億）

販売チャネル

宅配

店頭



シンガポールヤクルト株式会社 「ヤクルトゴールド」

2023年  
3月  
販売開始



販売チャネル

宅配

店頭



発売  
背景

- 飲料への添加糖含有量のランク表示の義務付け

商品  
特長

- 低糖タイプ（添加糖量のランクが4段階中、少ない方から2番目のBランク）
- 食物繊維、ビタミンDといった栄養成分を配合



“ 今後も各国・地域での商品展開を通じて、変化する消費者のニーズに対応し、世界中の人々の健康に寄与していきます。 ”

# 「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」

## 「森林破壊・土地転換」ってなに？

国連の報告によると、2015年以降、世界では毎年10万平方キロメートルもの森林が失われています。原因はさまざまですが、主要な原因としては、木材、紙や特定の農産物をつくるための土地開発が挙げられます。



森林保全に向けて、国連や各国政府などが取り組んでいますが、関連する原材料を使う**企業にも社会的責任**があります！

## 「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」の策定

ヤクルトグループでは、生物多様性の保全の取り組みとして、サプライチェーンから森林破壊をなくすことを目指す「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」を策定しました。サプライチェーンにおける森林破壊リスクのある原材料を特定し、基本の方針、取り組みおよび目標を掲げながら、持続可能な調達を推進します。

### 「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」の基本の方針

#### 環境に与えるリスク

- サプライチェーンにおいて森林を破壊するリスク
- 水質・土壌汚染、生物多様性の損失といった森林破壊に付随するリスク

#### 人・地域社会に与えるリスク

森林破壊によって住む場所や生活の糧が奪われるなど、先住民族や地域コミュニティの権利を侵害するリスク

### 基本の方針

自然資本や地域社会に支えられて事業を展開するヤクルトグループの持続可能性にとって、森林破壊は対応すべき重要なビジネス上のリスク・脅威と捉え、**森林破壊リスクが高い原材料に関わるサプライチェーンにおいて「森林破壊※ゼロ」を目指す。**

※当コミットメントにおける「森林破壊」の定義は、以下のとおりです。

- 自然林、HCVおよびHCS地域の農業または森林以外の土地利用への転換
- 自然林、HCVおよびHCS地域の植林地への転換
- 深刻かつ継続的な劣化による自然林、HCVおよびHCS地域の消失

(HCVおよびHCSについて)

- HCV: High Conservation Valueの略称で、生物多様性、水資源の保全、文化、景観などを考慮し、貴重で保全価値が高いこと  
※詳細はFSC®森林管理認証の原則と基準に基づく
- HCS: High Carbon Stockの略称で、土地に有機物が高濃度で含まれており、温室効果ガスである二酸化炭素などの炭素を大量に貯蔵していること

# を策定しました



▶ 詳細はニュースリリースをご参照ください。



▶ 同コミットメントに対する当社グループの取り組み内容は動画でも紹介しています。



## 対象範囲および対象原材料

対象範囲

▶ ヤクルトグループの食品・飲料、医薬品および化粧品の生産に必要な原材料調達に関わる国内外のすべての連結事業所

対象原材料

紙・パルプ



紙容器製品

パーム油



インスタント麺製品

大豆



豆乳製品

乳製品



乳製品

主な使用製品

## ヤクルトグループは森林保全に関する取り組みも行っています！

〔国内〕



工場等で植樹活動を実施



国際NGO オイスカの「子供の森計画※」への支援(本社)

〔海外〕

「百万本植林活動」プログラムに参加、ヤクルト公益林に7年間で14,000本の植林(中国ヤクルトグループ)



「Treedom(ツリーダム)」との提携で3年間に10,000本の植林(ヨーロッパ)

※子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にしたい気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうというプロジェクト。1991年に始まったこの活動は37の国と地域の5,800の学校に広がっている(2022年3月末時点)。

## 乳製品



▲New  
ヤクルト



▲Newヤクルト  
カロリー-half



▲ヤクルト  
400



▲ヤクルト  
400 LT



▲ヤクルト  
400 W



▲ヤクルト  
ファイブ



▲Yakult  
1000



▲Y1000

▼ミルミル



▼ミルミルS



▼ジョア

(1日分のカルシウム&ビタミンD プレーン、  
1日分のカルシウム&ビタミンD ストロベリー、  
1日分のマルチビタミン ブルーベリー、  
1日分の鉄&葉酸 マスカット)



▼ジョア  
(カルシウム&ビタミンD  
プレーン、  
鉄&葉酸 マスカット)



▼プレティオ



▼BF-1  
(ビーエフワン)



▼ソファール(プレーン、LT、ストロベリー、レモン、元気ヨーグルト)



清涼飲料



機能性表示食品

▲ヤクルト蕃爽麗茶

▲手軽に蕃爽麗茶  
(粉末タイプ)

▲爽涼健茶

▲タフマン (タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、  
Tough-Man Refresh (タフマン リフレッシュ))



機能性表示食品



▲黒酢ドリンク

▲オリゴ糖入り  
梅ドリンク

▲ヤクルトの美味しい  
はっ酵果実

▲レモリア

▲ラックミー  
(コーヒー、バナナ)

▲調製豆乳  
国産大豆使用

▼ヤクルトの乳性飲料  
ミルージュ  
(Ca125、200、  
ミルージュ (500ml))



▼ミルージュ



▼ミルージュ  
ソーダ



▼肝ファイン

機能性表示食品



## 清涼飲料



▲お茶



▲珈琲たいむ  
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲カフェ・オレ



▲いちご・オレ



▲マイルド  
カフェ・オレ



▲マイルド  
いちご・オレ

きになる野菜100 ▶  
(贅沢野菜1日分、  
1食分の野菜 β-カロテン、  
1食分の野菜 ポリフェノール)



▲野菜ジュース ▲野菜ジュース  
(食塩無添加)



◀きになる野菜  
(アップル&キャロット、  
白ぶどう&ほうれん草、  
1食分の鉄 アップル&キャロット、  
たっぷり食物せんい 白ぶどう&ほうれん草、  
1食分のマルチビタミン 赤ぶどう&トマト)



清涼飲料

▼オレンジジュース、アップルジュース、  
パイナップルジュース、グレープフルーツジュース



▼フルーツ青汁



▼さっぱりりんご



クイック▶  
チャージ



めん類

▼麺許皆伝  
(しょうゆ味、みそ味、しお味、  
とんこつ味、ソース焼そば)



▲佐賀の神埼  
(そうめん、ひやむぎ、  
中めん、うどん、そば)

▼乾麺物語  
(とんこつしょうゆらーめん、  
カレーうどん、汁なし担々麺、  
しょうゆらーめん、魚介醤油つけ麺)



## 健康食品



▲毎日うれしい  
ケールの青汁



▲こくごく飲める大麦若葉  
栄養アップ



▲ハイパー  
ケール



▲マルチプロバイオティクス  
サプリメント (15包入り)

\*通販限定



▲サプリズム (コラーゲン、ブルーベリー A、グルコサミン、DHA&EPA)



▲マルチプロバイオティクス  
サプリメント (30包入り)

\*通販限定

## 医薬品

### 医療用医薬品



▲カンフト



▲エルプラット



▲ゲムシタビン

### 家庭用医薬品



▲ヤクルトB L 整腸薬

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシホワイト

エジティックス▼  
モイストリペア  
エッセンス

ビスイクル▼  
リフトリペア  
エッセンス



▲ヤクルト  
ビューティエンス  
プリリアント  
～ザ クリーム～



▲リベシ



▲ラクトデュウ

▼クリスタンス  
ホワイトリペア  
エッセンス



▼パラビオ  
ACセラム サイ

▼パラビオ  
ACクリーム サイ



ボディケア



▲コクルム

ヘアケア



▲ラミーヌS.E.

メイクアップ



▲パラビオ



▲グランティアEX

# Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む40の国と地域で、  
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っており、  
世界中で毎日4,200万人を超える方々(2023年3月期 1日平均販売本数4,254万本)に  
ご愛飲いただいています。

## 【世界の販売本数】



### EUROPE

▶国と地域：13   
▶1日当たりの販売本数：65万本

#### ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス
- デンマーク

### THE AMERICAS

▶国と地域：6   
▶1日当たりの販売本数：572万本 

#### 米州地域

- ブラジル
- アメリカ
- メキシコ
- カナダ
- ウルグアイ
- ペリリーズ

### JAPAN

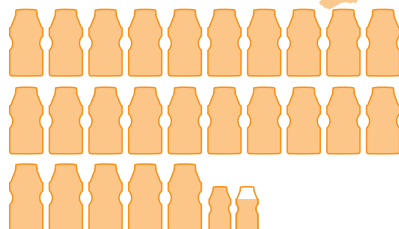
日本 ▶1日当たりの販売本数：1,100万本



### ASIA AND OCEANIA

#### アジア・オセアニア地域

▶国と地域：20   
▶1日当たりの販売本数：2,517万本



- 台湾
- マレーシア
- 香港
- ニュージーランド
- タイ
- ベトナム
- 韓国
- インド
- フィリピン
- アラブ首長国連邦
- シンガポール
- オマーン
- ブルネイ
- バーレーン
- インドネシア
- カタール
- オーストラリア
- クウェート
- 中国
- ミャンマー

## 株式会社ヤクルト本社

ヤクルト本社

本店：1      研究所：1  
 ■支店：5    ▲工場：7

●販売会社 107社  
 (うち連結子会社22社)

ヤクルトレディ    約32,700人  
 ヤクルトビューティ    約3,600人

●ボトリング会社 5社 (連結子会社)



## 【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 湘南ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 富山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 株式会社ヤクルト山陽
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

## 会社概要

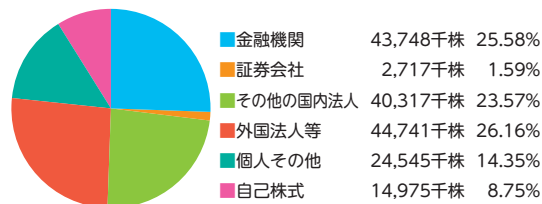
商号 株式会社ヤクルト本社  
(YAKULT HONSHA CO., LTD.)  
設立 1955年4月9日  
本店 東京都港区海岸1丁目10番30号  
電話 03(6625)8960(大代表)  
資本金 311億17百万円  
従業員 2,765人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者286人および嘱託160人を含んでいます。

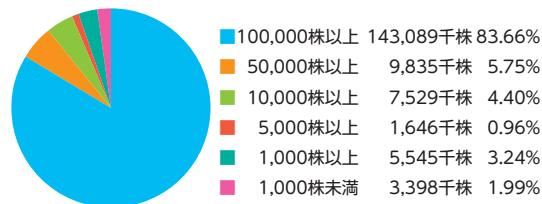
## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 700,000,000株  
発行済株式総数…………… 171,045,418株  
株主数…………… 30,315名

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況



## 役員 (2023年6月21日現在)

代表取締役社長	成田 裕	社外取締役	安田 隆二	常勤監査役	山上 博資
取締役	若林 宏	社外取締役	戸部 直子	常勤監査役	川名 秀幸
取締役	土井 明文	社外取締役	新保 克芳	社外監査役	谷川 清十郎
取締役	今田 正男	社外取締役	永沢 裕美子	社外監査役	手塚 仙夫
取締役	平野 宏一	社外取締役	阿久津 聡	社外監査役	町田 恵美
取締役	榑良 昌利	社外取締役	マシュー・ディグビー		*非常勤
取締役	星子 秀章	取締役	内藤 学		
取締役	島田 淳一				

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,318	13.05
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,778	3.96
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,878	2.27
松尚株式会社	3,417	2.00
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,589	1.51
GOVERNMENT OF NORWAY	1,829	1.07
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,783	1.04
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	1,736	1.02

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会社です。  
上表のほか、当社は自己株式14,975千株を保有しています。

## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、商品情報、企業情報、IR情報、サステナビリティなどさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yakult.co.jp/>

## 株主優待

毎年3月31日現在で100株以上ご所有の株主さま  
当社商品詰め合わせを贈呈

- ※1,000株以上ご所有の株主さまは商品内容が異なります。
- ※ご所有期間3年以上の株主さまは「化粧品」を追加で贈呈します。
- ※2023年3月31日現在で対象となる株主さまには、6月上旬に発送しています。

毎年9月30日現在で100株以上ご所有の株主さま  
東京ヤクルトスワローズ  
オフィシャルファンクラブ(スワローズグループ)に  
無料でご入会いただける権利をご提供

- ※ご所有株数によってご入会いただける会員種別が異なります。
- ※入会についてのご案内は、12月上旬に発送予定です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
株主総会	定時株主総会 毎年6月中 臨時株主総会 必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <https://www.yakult.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社

事務取扱場所 〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町三丁目11番地  
(NMF竹橋ビル6F)

(郵便物送付先)  
連絡先 〒168-8522  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
☎ 0120-49-7009

### 株式に関するお手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い  
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など  
お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

### 株主総会資料のご提供について

会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。書面でご送付していた株主総会資料は、原則ウェブでの提供となります。

事業報告および計算書類等の株主総会資料について、書面でのご送付をご希望の株主さまは、書面交付請求制度をご利用ください。

〈書面交付請求に関するお問い合わせ〉 東京証券代行株式会社  
☎ 0120-79-9001 (9:00~17:00 土日・休日を除く)



# Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区海岸1丁目10番30号

TEL : 03-6625-8960(大代表) <https://www.yakult.co.jp/>